

JFPAは5Aの表現を目指します!

- ① Adolescent 思春期保健の推進
- ② Abortion 人工妊娠中絶の防止
- ③ Access どこでも誰もがサービスを受けられる
- ④ Advocacy 啓発・提言活動
- ⑤ AIDS STD&HIV/エイズの予防

# 家族と健康

健康教育情報紙

社団法人 日本家族計画協会  
 リプロ・ヘルス推進事業本部  
 健康教育推進本部  
 協力：財団法人予防医学事業中央会  
 〒162-0843 東京都新宿区市谷田町1-10 保健会館新館  
 電話03(3269)4727 FAX03(3267)2658 http://www.jfpa.or.jp  
 発行人：近 泰 男 編集人：柴田 昭二  
 毎月1回1日発行 年賦送料¥3150 1部¥315円

今月のページ

今号からサイズが大きくなりました

|                             |      |
|-----------------------------|------|
| 活発な若者活動 U・C・O・M総会開催         | 2面   |
| 性教育の授業と相談活動                 | 3面   |
| 成人病胎児期発症(起源)説からみた胎内低栄養環境の意義 | 4~5面 |
| 思春期性教育 今、大切な指導のポイント         | 6面   |
| 平成22年「女性の健康週間」イベント 厚労省が開催   | 7面   |
| 避妊教育ネットワークリレートーク            | 8面   |

## マタニティマークの更なる周知を

### 厚労省「全国児童福祉主管課長会議」開催



妊婦健診公費負担、自治体へ協力を要請

母子保健関係施策について、宮崎雅則母子保健課長が説明した。要旨は次の通り。

【妊婦健康診査等】  
 平成21年4月時点の公費負担の状況を調査したところ、公費負担回数全国平均は13.96回だった。22年4月時点の状況について近日中に調査するので、協力をお願いする。23年度以降の対応については、更なる充実を要請する。

【子どもの心の問題】  
 20年度より都道府県域における拠点病院を中核とし、さまざまな支援体制の構築を図るため、「子どもの心の診療拠点病院機構推進事業」をモデル事業として実施している。21年度は11都道府県で実施されたが、23年度以降の対応はモデル事業の結果等をふまえて今後検討する。

厚生労働省は2月25日、全国児童福祉主管課長会議を同省講堂にて開催した。全国の都道府県等の担当者が参集し、平成22年度児童福祉関係予算案等について、雇用均等・児童家庭局より説明を受けた。



(2面)

(6面)

### トピック

#### 子ども「ほしくない」夫婦

6年間で5.5%に子ども出生

第7回21世紀成年者縦断調査

第7回21世紀成年者縦断調査(国民の生活に関する継続調査)の結果を3月17日、厚生労働省が公表した。本調査は少子化対策等の基礎資料として平成14年10月末時点で20~34歳の男女を対象に毎年実施するもの。

▽第1回からの夫婦について、第1回調査時の夫及び妻の子どもを持つ意向別にこの6年間の出生の状況を見ると、夫、妻ともに「ほしくない」では68.3%、「ほしくない」では5.5%の夫婦に子どもが生まれている。▽夫婦の意欲が「ほしくない」とも生まれている。

指導をお願いする。

【不妊治療への支援】  
 特定不妊治療費助成事業について、21年度第一次補正予算において、給付額を1回あたり10万円から15万円に引き上げた。22年度予算案でも必要な予算を計上したところ。実施医療機関の指定については、21年5月に指針を改正したので留意願いたい。

#### 国会遺伝相談センター

##### 国の助成打ち切り

1977年(昭和52年)に「家族計画特別相談事業」として国が予算化し、以来32年間にわたって本会が受け手となってきた「遺伝相談センター」事業は、遺伝を遺伝相談事業として位置付け、遺伝カウンセラー養成のためのセミナー開催や、電話による全国の相談施設紹介等を引き続き実施していく。

▼本会の「遺伝相談センター」は、日本で初めてのセンターとして、1977年(昭和52年)に当時の厚生省の助成を受け設立され、32年間にわたり活動してきたが、このたび平成22年度からの補助金の打ち切りにより、センターとしての運営が困難な事態となった。センターは「ロープレイ」当事者の話などを通してクライエントと向き合う手法が特徴で、受講者からの評価は高い。カウンセラーはコミュニケーションを図り、相手の立場を理解して必要な情報をしっかりと伝えることが、いかに大事かを知ることになる。

▼受講者からの感想は「これまで当事者の悩みをじっくり聞くことはなかった」「医師への期待の大きさが伝わり、心にしみだ」「先端の医学、科学だけでは問題の解決にはならないことが分かった」「知識だけのカウンセラーは必要とされた。これらの養成は引き続き本会が継続していくので、関係各位のご支援、ご協力を賜りたい。(SS)

【子どもの心の問題】  
 20年度より都道府県域における拠点病院を中核とし、さまざまな支援体制の構築を図るため、「子どもの心の診療拠点病院機構推進事業」をモデル事業として実施している。21年度は11都道府県で実施されたが、23年度以降の対応はモデル事業の結果等をふまえて今後検討する。

【乳幼児身体発育調査】  
 10年に1回の調査を9月に実施する。

【児童福祉施設における食事提供等】  
 「日本人の食事摂取基準(2010年版)」の告示に合わせて、この活用に関する通知を提出する。適切な運用及び関係者等への周知・普及啓発をお願いする。具体的な食事計画の作成や評価など、食事摂取基準もふまえた栄養管理の手法について21年度中にガイドをとりまとめる。

メデラ社は搾乳器、母乳の保存、授乳用品、特殊なニーズに対応する補足用補助器具をはじめとした製品、そしてそれらと関係するリサーチと教育活動に取り組み、母乳育児のトータルサポートを提供致します。

お母さまと赤ちゃんのための2フェーズ搾乳機能搭載のリサーチベースで生まれたメデラ社電動搾乳器Symphony®をぜひお試しください。

デモ器のご要望は下記までご連絡ください。

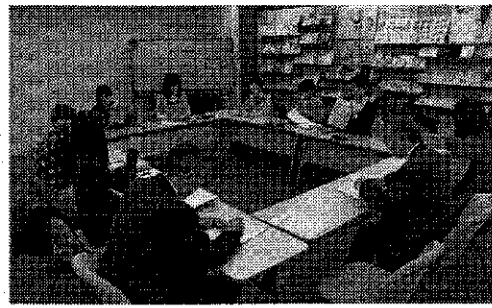
メデラ株式会社 東京都江東区木場5-12-8 3F  
 Tel:03-3820-5187 Fax:03-3820-5181  
 www.medela.jp

medela

No.1 choice of hospitals & mothers

平成22年度 本会主催セミナー開催予定

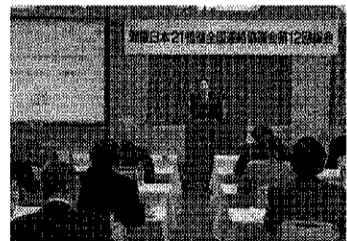
Table with columns: テーマ, セミナー名, 開催地(予定), 開催時期, 期間, 受講料(税込), 対象. Rows include 第59回 思春期保健セミナーコースI, 第60回 思春期保健セミナーコースI, 第49回 思春期保健セミナーコースII, etc.



本会若者委員会(U-1)会多目的ホールで平成21(2009)年は2月23日、本年度の総会を開催した。

活発な若者活動 U-1COM総会開催

研究会との国際交流... 務所、HANDS共催で、ブースを出展した。U-1COM総会開催... 研究会との国際交流... 務所、HANDS共催で、ブースを出展した。



健康日本21推進全国連絡協議会 第12回総会を開催... 健康日本21推進全国連絡協議会が3月3日、都内の東海大学校友会館で開催された。

第9回健やか親子21推進協議会 総会を開催... 第9回健やか親子21推進協議会が3月1日、厚生労働省講堂で開催された。



「JFPAネットショップ」のご案内

「リューブゼリー」「メノケアモイストゼリー」を自宅から注文したい...そんな個人のお客様のニーズにお応えします! 自治体や医療機関の方へのお願い 上記の商品をお探しの地域の方や患者さんがいらした際にご紹介下さい。

「JFPAネットショップ」は「一般個人のお客様」のご注文専用です。自治体や医療機関などのお客様からのご注文は従来通りお電話やFAXにて承ります。

★詳しくはこちらにアクセスを! 検索は JFPAネットショップ で http://www.jfpa.or.jp/



# 生活習慣病、予防

## 成人病胎児期発症(起源)説からみた胎内低栄養環境の意義

早稲田大学胎生期エビデンス・メカニズム制御研究所教授 福岡 秀興

はじめに

今は少産少死と高齢化が急速に進行しています。何よりも生まれてくる次世代が健康であることが第一に考えられなくてはなりません。人口が減少しても、病気が少なく健康であって、活力のある人々が構成される社会であれば、世界に對しても発信出来る社会であり続けることは可能ではないでしょうか。

ある人々が構成される社会であれば、世界に對しても発信出来る社会であり続けることは可能ではないでしょうか。

私達の世代の責務は、次世代の健康が重要であることを説き及ぶ、健康な次世代が生まれる環境を整備することにあります。しかし必ずしもそうではない状況が進行しているのが今の日本です。

1986年英国のバーカー(David Barker)先生が「成人病胎児期発症(起源)説」といって、成人病(生活習慣病)の発症は、胎児期に始まることを示した。病気を起こす原因と症した人々の遺伝子(S

### 成人病胎児期発症(起源)説とは

成人病は、今は「生活習慣病」といわれていま

### 成人病の素因が胎児期に形成されるメカニズム

胎児期あるいは新生児期の低栄養状態が何十年

症機序として新しい考え方を提案しました。この効率的に発症予防が可能となることも示しています。

現在ではこの考え方は間違いなく示されています。この考え方は次世代の健康を確保する基本となることにも、疾病に罹患するリスクがある児(胎内で低栄養に晒されて育った児)に對しては、生活習慣の指導を早

現在ではこの考え方は間違いなく示されています。この考え方は次世代の健康を確保する基本となることにも、疾病に罹患するリスクがある児(胎内で低栄養に晒されて育った児)に對しては、生活習慣の指導を早

現在ではこの考え方は間違いなく示されています。この考え方は次世代の健康を確保する基本となることにも、疾病に罹患するリスクがある児(胎内で低栄養に晒されて育った児)に對しては、生活習慣の指導を早

成人病は、今は「生活習慣病」といわれていま

成人病は、今は「生活習慣病」といわれていま

成人病は、今は「生活習慣病」といわれていま

成人病は、今は「生活習慣病」といわれていま

### 今日の日本の現況

早産・満期産を含めて出生体重2500グラム未満を低出生体重児とい

早産・満期産を含めて出生体重2500グラム未満を低出生体重児とい

早産・満期産を含めて出生体重2500グラム未満を低出生体重児とい

早産・満期産を含めて出生体重2500グラム未満を低出生体重児とい

表1 出生体重と関連して発症する疾患

|  |
|--|
| <b>低出生体重との関連が明確な疾患</b>   |
| 高血圧、冠動脈疾患、(II型)糖尿病<br>脳梗塞、脂質代謝異常、血液凝固能の亢進<br>神経発達異常            |
| <b>低出生体重との関連が想定されている疾患</b>                                     |
| 慢性閉塞性肺疾患、うつ病、統合失調症<br>行動異常、子宮及び卵巣重量、思春期早発症、<br>乳がん、前立腺がん、睾丸がん他 |

de Boo HA and JE Harding. Austral New Zealand J Obstet Gynecol. 2006; 46: 4-14.

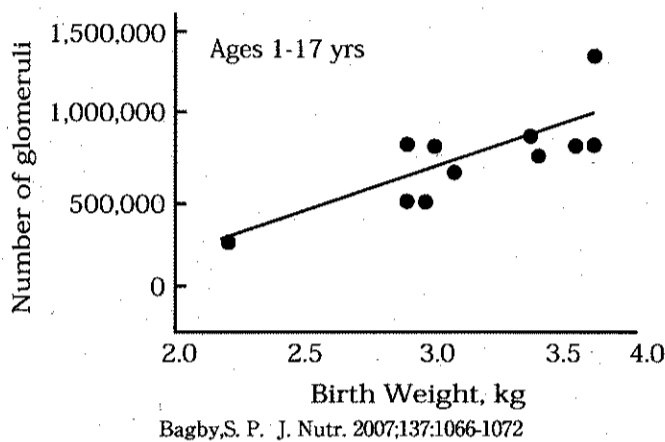


図1 ヒト出生体重と腎臓系球体ネフロン数の相関

胎児期あるいは新生児期の低栄養状態が何十年

胎児期あるいは新生児期の低栄養状態が何十年

胎児期あるいは新生児期の低栄養状態が何十年

胎児期あるいは新生児期の低栄養状態が何十年

お問い合わせ・ご注文は (社)日本家族計画協会へ TEL.03-3269-4727 FAX.03-3267-2658

**新作** 4カ国語に「中国語」「韓国語」が追加され、**6カ国語**となりました!!

## 6カ国語版母子健康手帳

市区町村窓口にて必ず常備して欲しい1冊です!!

仕様: A4判・60頁  
表紙カラー/本文2色刷  
定価: 1,800円+税

記載言語

- 日本語
- 英語
- ポルトガル語
- タガログ語
- 中国語 **NEW**
- 韓国語 **NEW**

**ポイント**

- 全国の市町村からのご要望にこたえて6カ国語にリニューアルしました
- 6カ国語になり、これ1冊で対応できるようになったので急な外国人来訪者にも安心
- 1冊にまとまっているので各言語で用意する必要がなく、無駄が省ける







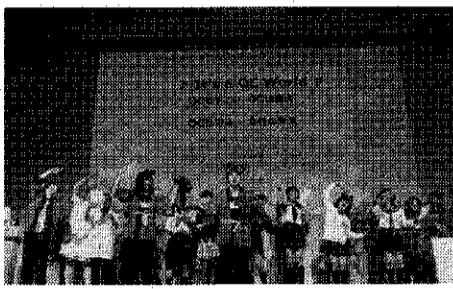
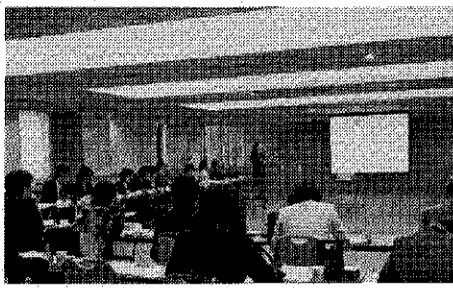
避妊教育ネットワーク会員 (◎は世話人)

- 【北海道】 真井康博(慶愛病院)、神藤巳佳(エムズレディースクリニック)、土橋義房(さくら女性クリニック)、有馬和代(麻生レディースクリニック)、塚田訓子(レディースクリニックぬまのはた)
- 【青森】 ◎蓮尾豊(弘前女性クリニック)、片桐清一(国立病院機構弘前病院)、平岡友良(あおもり協立病院)
- 【岩手】 秋元義弘(岩手県立二戸病院)
- 【宮城】 北野原正高(きたのはら女性クリニック)
- 【山形】 井上聡子(さとこ女性クリニック)
- 【福島】 野口まゆみ(西口クリニック婦人科)、阿部雪江(あべクリニック)
- 【茨城】 和田由香(いはらき思春期保健協会)
- 【群馬】 ◎家坂清子(いささか産婦人科医院)、今井美和(ベルフィーユ今井レディースクリニック)、倉澤剛太郎(西吾妻福祉病院)
- 【埼玉】 中山政美(ディアラ21女性クリニック)
- 【千葉】 八田真理子(聖順会ジュノ・ヴェスタクリニック八田)、柳堀厚(露仙堂クリニック)
- 【東京】 木村好秀(浜田病院)、東哲徳(東クリニック)、◎北村邦夫(日本家族計画協会クリニック)、吉野一枝(よしの女性診療所)、池上芳美(池上レディースクリニック)、対馬ルリ子(ウィメンズ・ウェルネス銀座クリニック)、須藤なほみ(虎ノ門病院)
- 【神奈川】 植田啓(ソレイユひまわりレディースクリニック)、森理子(大和市立病院)
- 【長野】 渡邊智子(北信母性保護相談所、丸山産婦人科医院)、滝沢緑(滝沢医院)、竹内はるか(飯田市立病院)
- 【山梨】 武者稚枝子(武者医院)
- 【静岡】 宮崎千恵子(宮崎クリニック)、鎌田光一(かまたクリニック)
- 【愛知】 小栗明子(明子ウェルネス・クリニック)、斎藤洋子(アルファクリニック)、丹羽咲江(咲江レディースクリニック)
- 【富山】 ◎佐竹紳一郎(さたけ産婦人科)、種部恭子(女性クリニックWe富山)、桑間直志(富山赤十字病院)、船谷由佳(富山県立中央病院)、舌野靖(富山県立中央病院)
- 【石川】 田中良則(産婦人科田中医院)
- 【三重】 川村真奈美(三重県厚生農業協同組合連合会いなべ総合病院)、西浦理佳(サ・クリニック)
- 【滋賀】 高橋健太郎(滋賀医科大学医学部附属病院)
- 【京都】 池田裕美枝(格和会音羽病院)
- 【奈良】 甲村弘子(大阪樟蔭女子大学大学院)
- 【兵庫】 阿部紋(阿部レディースクリニック)、阿部善継(阿部レディースクリニック)
- 【岡山】 上村茂仁(ウイメンズクリニックかみむら)、太田郁子(倉敷平成病院)
- 【広島】 ◎河野美代子(河野産婦人科クリニック)、山本雅子(西条ときわクリニック)
- 【山口】 金子法子(針間産婦人科)
- 【徳島】 河野美香(河野美香レディースクリニック)
- 【大分】 貞永明美(貞永産婦人科)、谷口久枝(やぐちレディースクリニック)
- 【佐賀】 大隈良成(大隈レディースクリニック)
- 【長崎】 安日泰子(やすひウィメンズヘルスクリニック)
- 【熊本】 池田景子(池田クリニック)
- 【宮崎】 秦博子(はた産婦人科)
- 【鹿児島】 昇見司(産科・婦人科のぼり病院)
- 【海外】 岡村麻子(元・日立総合病院※北京)、金子さおり(元・名古屋市立大学産婦人科※上海)

(3月14日現在)

# リレートークを始めるにあたって

本会常務理事・クリニック所長 北村 邦夫



「できたら近況報告に15分間ほどいただければいいか」。久しぶりにお出された慶愛病院(帯広市)の真井康博先生の声を遮るように、「今日の出席者の数からみても2分が1つはあります」と。3月14日に主婦会館プラザエフで開催された「避妊教育ネットワーク第10回事例検討会」(写真上)の開催前夜、(写真下)の北村邦夫先生は、開会前夜に、当日の参加者は北海道から

「避妊や性感染症予防をテーマにした教育を依頼されることが増えたが、経験も乏しく不安だ」との声を連発することになった。会員の日頃の活躍ぶりを具体的に紹介していくことができればと願っている。

第1回目は、世話人の一人である筆者が、「避妊教育ネットワーク」の設立の経緯と最近の活動内容などを

「避妊教育ネットワーク」の設立の趣旨

各地域において、主として若年者に対する避妊指導を取り組んでいる医師が、地域ごとに異なる様々な事情(成功事例や問題点など)を議論し、また情報を共有し、それぞれのスキルアップを図ることを目的とする。

以下の要件を満たす医師個人

- ①地域で思春期に関する活動を積極的に行っている
- ②避妊教育、性感染症予防教育を積極的に行っている
- ③思春期女性に対して、避妊及び避妊以外の利点を目的として低用量経口避妊薬(OC)の処方方を推奨している
- ④上記について、現在は行っていないとしても、今後活動を行う意思がある
- ⑤人工妊娠中絶を女性のリプロダクティブ・ライフ(性と生殖に関する権利)として捉えている

具体的な活動内容

- ①メールマガジンを通じた会員間での日々の意見交換、情報の共有
- ②年2回の研究会(避妊教育事例検討会)の開催
- ③調査研究と学術集会における発表

「避妊教育ネットワーク」の活動として是非とも語らなければならないことがある。2008年11月、筆者が会長となつて第49回日本母性衛生学会学術集会がシエラトン・グランア・トーキョーベイホテルで開催されたことはまだ記憶に新しいことと思う。その会期中、ランチョンセミナーの一つとして「避妊教育ネットワーク」が活躍したのだ(写真下)。

「避妊教育ネットワーク」主催で「今日から役立つ避妊教育」(仮題)をテーマにセミナーが行われ、会員による手作りのセミナーではあるが、参加者には驚くほどのインパクトのある会になったと確信している。

## 避妊教育ネットワーク

### リレートーク ①



北村本会常務理事

「避妊教育ネットワーク」の活動として是非とも語らなければならないことがある。2008年11月、筆者が会長となつて第49回日本母性衛生学会学術集会がシエラトン・グランア・トーキョーベイホテルで開催されたことはまだ記憶に新しいことと思う。その会期中、ランチョンセミナーの一つとして「避妊教育ネットワーク」が活躍したのだ(写真下)。

「避妊教育ネットワーク」主催で「今日から役立つ避妊教育」(仮題)をテーマにセミナーが行われ、会員による手作りのセミナーではあるが、参加者には驚くほどのインパクトのある会になったと確信している。

「避妊教育ネットワーク」の活動として是非とも語らなければならないことがある。2008年11月、筆者が会長となつて第49回日本母性衛生学会学術集会がシエラトン・グランア・トーキョーベイホテルで開催されたことはまだ記憶に新しいことと思う。その会期中、ランチョンセミナーの一つとして「避妊教育ネットワーク」が活躍したのだ(写真下)。

「避妊教育ネットワーク」主催で「今日から役立つ避妊教育」(仮題)をテーマにセミナーが行われ、会員による手作りのセミナーではあるが、参加者には驚くほどのインパクトのある会になったと確信している。

**協会レポート**

◎：新年度になり、新しい環境で新しい業務をスタートさせている方も大勢いらっしゃると思います。フレッシュな気持ちで新年度をスタートさせたいですね。

◎：厚生労働省の策定する「日本人の食事摂取基準」の2010年版も既に発表され、この4月から適用になります。

◎：エネルギーや食塩等の摂取基準が変わり、皆様の保健指導の現場でも2010年版に準拠した教材が求められています。本会の教材は既に順次、数値の変更を行っており、新しい基準に沿って指導ができる教材となっております。ぜひこの機会にご利用ください。(穂渡)

**自分のリズムで生きる**

Living by your own rhythm.

このサイトは、OC(低用量経口避妊薬)についての正しい知識を身につけていただくことを目的としています。

**OCケータイ情報**

会員登録(無料)することでOCの服用時間をお知らせするメールが受信できます。

<http://oc-cycle.jp>

情報閲覧・会員登録無料! ※パケット通信料は別途必要になります。

**低用量経口避妊薬(OC)**

**ウェブサイト**

OCのことはもちろん、初めての受診や女性の健康など、関連情報も掲載しています。

<http://www.oc-rizum.jp>

シェリング・プラウは、女性のクオリティ・オブ・ライフ(生活の質)に貢献する選択肢の一つとしてOCをとり上げ、その正しい情報提供に努めたいと考えています。

**シェリング・プラウ株式会社** 〒541-0048 大阪市中央区平野町2-3-7